

音楽科の授業づくりスタンダード【1 単位時間の授業で】

～主体的・対話的で深い学びの実現に向けて～

東濃教育事務所

つかむ	<p>1. 本時の課題や自分の課題をつかむ</p> <ul style="list-style-type: none">○音や音楽のと出会いから憧れや願い、「やってみたい」という思いをもたせる○題材の目標や前時とつないで、思いや願いと実際の表現のずれなどから、必然のある課題を設定する○課題に対する自分の学習状況を判断させる	<p>2. 課題解決のための具体的な見通しをもたせる</p> <ul style="list-style-type: none">○表現（鑑賞）のポイント（音楽的な視点）を示す○表現方法（鑑賞の仕方）の具体を示す
深める	<p>3. 課題解決に向けて実際に音で試したり、交流したりすることができる学習活動を設定する。</p> <ul style="list-style-type: none">○自分の考えをもつ時間を保障する○必然をもった学び合いが生まれる学習形態を工夫する○仲間との交流の視点や方法を示す○自己課題や必要感に応じて選び取れる練習方法や音や音楽で試せる場を設定する	<p>4. 自分たちの表現や聴き方、作品をもう一度見直したり、更新したりできる場を位置付ける。</p> <ul style="list-style-type: none">○教師が意図的に新たな気づきとなる表現を価値付け、全体で共感・共有する○より深めたい視点を示し、ゆさぶりをかける
まとめる	<p>5. 表現（鑑賞）の深まりや工夫したことのよさを実感させ、学びを振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none">○授業の最初の表現と比べながら、表現の豊かさや深まりの変容が実感できるよう、音や音楽で確認する○より深まった音楽的な見方・考え方や表現を全体で共有し、何ができたか、どんな実感が味わえたか、どうしてできたかについて振り返る○本時、誰にどういう意識をもたせることができれば、おおむね全体がねらいを達成できたと言えるか、その姿を見届け、価値付けたり、次時への手立ての工夫につなげたりする	

【児童生徒の学習意欲を高める課題化】

◇楽しく主体的に音楽に関わり、音楽活動の喜びを実感するような学習活動のために、導入を工夫し、必然のある課題を生み出す

★本時のねらいに合わせた導入の工夫（例）

- ・比較（音色・リズム・速度・強弱・音の重なり・調などの「音楽を形づくっている要素」を変化させて、願いと実際のずれに着目させる）
- ・身体を使った表現（手拍子・指揮・足踏み・スキップなど）
- ・クイズ形式（曲名・演奏楽器・国や地域・テーマの回数など）
- ・憧れを生み出す演奏やよくない例を意図的に示す



この意識の連続を生み出す授業

【考えを広げ深め、ねらいにつながる対話的な学びの充実】

◇課題を追究する学習過程において、個でもった考えを集団での学びを通して深められるよう工夫する

★音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を聴き取り（知覚）それらの働きを生み出す特質や雰囲気を感じ取り（感受）、音楽活動と言語活動の往還を図りながら、主体的・対話的に学ぶ学習を展開する。

【表現領域】思いや意図

演奏して試す

【鑑賞領域】音楽の特徴

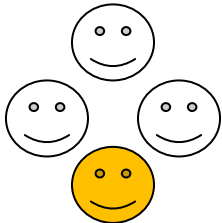
聞いて確かめる

個人で



旋律の音が上がっていくな。ここにfがあるし、ここが山になるように歌いたいな。

仲間と



C：旋律の動きに合わせていきなりfにするよりだんだん強くした方がぐっとくる感じになると思うけど、どうかな。

C：それには出だしの音をやさしく歌うといいね。

C：同じ歌詞が繰り返されて、音がだんだん上がっていくからクレシェンドをつけると気持ちが盛り上がるよね。

C：どうやってクレシェンドしていくか歌って確かめてみようか。

自分では思いつかなかった表現の仕方があって面白いな。

★教師は児童生徒の発言や活動を問い返したり、価値付けたりして、知覚と感受を結び付け、可視化したり、拡大楽譜などに分かりやすくまとめたりして、全体で共有しながら学びの質を高める。

T「Aさんは旋律づくりの終わりの音をずっと迷っていたけど、どうしてこれに決めたの？」

A「自分は終わる感じにしたかったから、はじめは最後をラ・ラにしていたけど、ペアの〇さんに聴いてもらったら最後の音と同じで続く感じがするよっていわれたから、色々やってド・ラにしました。」

T「終わる感じになっているかどうか、両方みんなに聴いてもらおうか。先生、吹いていい？」

C「ほんとだー」「全然ちがうね」

C「ド・ラの方がなんか、すっきりした気分になる」

T「終わる感じがな、続く感じがな、って考えながらつくるだけじゃなくて、友達とよく聴き合うことができたからこんなすてきな旋律になったんだね。

Aさんみたいに一番のお気に入りができるように、友達に、こんな感じにしたいけど、どうかなって聴いてもらおうか。」

【学びを実感・自覚し、次時につなぐ振り返り活動の充実】

◇振り返る場は、音楽を伴って、自らの学びを実感させることで、次時への意欲につなげる

★本時の終末で学んだことを言葉で確認し合うだけではなく、実際に学んだことを生かして「歌う」「演奏する」「聴く」などの活動を行い、授業の最初と何が変わったか・どんなよさが味わえたか・できたかどうかだけでなく、どうしてできたのかについて振り返り、学びの実感や達成感を味わわせる。

・パート練習で意見を出し合って旋律の動きに合わせて強弱を工夫したら、授業の最初に比べて、未来へ強く進むぞって強い気持ちが表せて気持ちがよかった。学級の合唱コンクールの曲にも生かしたい。

・自分のお気に入りのリズムができたよ。ペアの〇さんの細かいリズムの繰り返し面白かったから、真似してみたら楽しいリズムになったよ。

・最初なんとなく恐いとか感じなかったけど、実際にキーボードで確かめたり、仲間と楽譜から読み取ったりして、同じテーマを繰り返しながらだんだん速く、音がだんだん高くなっていくことで、迫りくる恐怖感を演出していることが分かっておもしろかった。他の音楽にもどんな秘密があるのか、聴いて見つけてみたい。